

○文献リスト 1989—(1)

- 碓井信久. 絶滅の危機—カワゴケソウ科植物を訪ねて. 採集と飼育 51(6):254—256.
- 小野田義輝, 組織培養技術を取り入れた水生雑草の多目的利用の可能性について. ホテイアオイ研 Newsletter (14):1—6.
- 加藤信重. 草加市内のサンショウモとイチョウウキゴケの分布状況. 野草 55:33—35.
- 角野康郎. 日本の水草 その自然史⑥スイレン科の花生態学. 日本の生物 3(1):55—60.
- . 同⑦ タヌキモ類の分類と開花・結実をめぐって. 同上 3(2):63—68.
- . 同⑧ 異形葉をもつ水草たち. 同上 3(3):55—60.
- . 同⑨ 帰化水草の生態. 同上 3(4):55—60.
- . 同⑩ 生活史と種内変異. 同上 3(5):55—60.
- . 同⑪ 消えゆく水草たち. 同上 3(6):55—60.
- . 国井秀伸・浜島繁隆. 水草を語る—水草学の現状とその保護—. 同上 3(7):62—69.
- 河合良典. 知多半島におけるタヌキモ属の新産地. 食虫植物研究会誌 40:45—46.
- 倉内一二. 愛知県牟呂用水の植生と環境Ⅱ—環境影響と植生変化—. 豊橋短期大学研究紀要 (6):41—48.
- 小林禧樹. 新帰化植物タテバチドメグサ(新称)淡路島に産す. レポート日本の植物(38):179.
- 小宮定志. ムジナモとその最後の自生地宝蔵寺沼. 日本歯科大学紀要(一般教育系)(18):97—143.
- 外山雅寛. 北海道勇払郡苫小牧市より *Utricularia* 数種の分布記録Ⅲ. 食虫植物研究会誌 40:9—14.
- . 北海道北部の食虫植物(I). 同上40:15—29.
- 西田雄行. 教材としてのイチョウゴケ. 遺伝43(3):34—35.
- 藤目信行. 旧吉野川流域のホテイアオイ対策について. ホテイアオイ研Newsletter (14):7—13.
- 森 俊. 角田市「内町湖」の興味ある植物. 宮城の植物. 14:30—32.
- 矢部和夫. 低地湿原の比較生態学的研究—暖温帯と冷温帯低地湿原の比較—. 北海道大学大学院環境科学研究所邦文紀要 (4):1—50.
- 湯浅 明. 2,000年ハス後日談. 採集と飼育 51(1):30—33.
- 和田基巳. 老町田湿地植物群落のヒメミミカキグサの生育状況について. 食虫植物研究会誌 40:41—45.
- 渡辺晴夫. 長野県信濃町大久保の池、タヌキモの自生地. 同上 40:39—40.
- H. Kunii. Continuous growth and clump maintenance of *Potamogeton crispus* L. in Narutoh River, Japan. Aquat. Bot. 33:13—26.
- Satake, K., T. Takamatsu, M. Soma, K. Shibata, M. Nishikawa, P. J. Say & B. A. Whittton. Lead accumulation and location in the shoots of the aquatic liverwort *Scapania undulata* (L.) Dum. in stream water at Greenside mine, England. Aquat. Bot. 33:111—122.

○抄録 J. Aquat. Plant Manage. (Vol. 26, 1988)

Selective Patterns of Herbicide Application for Improved Biological Control of Waterhyacinth

(K. H. Haag, M. S. Glenn and J. C. Jordan)

ホテイアオイの再生およびその天敵昆虫のゾウムシ (*Neochetina* sp.) 個体群の動態に対する2つの除草剤散布法の効果を、フロリダ州アラチュアの7つの池で比較した。処理1区ではホテイアオイのマットの半分の面積に除草剤を散布し、半分の面積のホテイアオイは残された(この場合、上下に長い長方形の池を上下に二分する形なので、植物の孳個体が再生し隣接する水面を覆うための境界線は短い)。この処理を施された池では、植物の再生による面積拡大は抑えられたためにゾウムシの効果が促進され、食害の結果としてホテイアオイは消失した。処理2区では、上下に長い長方形の池を左右に二分して、1区と同様の処理を施した(この場合は開水面と植物群落との境界線は長い)。この場合には再生個体がすぐに開水面を覆った。植物の成長がゾウムシの増加率を上回り、食害は植物を制御するには不十分だった。

Harvest as control for Sago Pondweed (*Potamogeton pectinatus* L.) in Badfish Creek, Wisconsin: Frequency, Efficiency and its Impact on the